

第 15 回目の GIS News! です


毎日暑い日が続いておりますが、皆さん体調は如何でしょうか？
冷たいジュースやビールの飲みすぎなどには注意したいものですね。

さて、Vol.15 では、前回の記事に引き続き、市販データについてご紹介
します。どうぞ最後までお付き合いください。

属性データの項目

GIS を導入する際に多くの費用を必要とするのはデータ入力です。既に
構築されたデータや市販されているデータを利用することができれば、費
用を大きく抑えることができます。

それでは市販データにはどのような情報が用意されているのでしょ
うか。その一例をご紹介します。

住所属性 ・住所コード ・都道府県住所 ・市町村住所 ・町、大字住所 ・地番号住所	建物属性 ・住所コード ・都道府県住所 ・市町村住所 ・町、大字住所 ・字、町目住所 ・地番号住所1 ・地番号住所2 ・地番号住所3 ・表札名 ・建物名1 ・建物名2 ・建物名3	<div style="text-align: right;">  </div> 山形県 山形市 あいう町 一丁目 1000 100 10 山形太郎 マンション A館 101号室
---	--	--

データ利用の注意点

市販データは、メーカーが定期的に更新を行っています。半年毎にデ
ータ更新を行っているメーカーもあれば、3年に1回というメーカーもあ
りますので、目的に合わせて選択されてはいかがでしょうか。

また、使用者側がデータ更新（修正）を行うことを認めていない場合
もありますので、必要であれば確認されることをお勧めいたします。

いずれにせよ、市販データの精度・信用性は住宅地図のレベルです。
自治体が整備している台帳程の正確性はありません。**市販データの精度**
、**更新頻度**を考慮しながら、直接的・間接的に利用いただき、構築費用
の削減に活用いただきたいと思います。

次回の GIS News!

次回は 8 月 20 日発行予定です。よろしくおつき合い下さい！

Geographic Information System

記事：協同組合山形県地理情報センター 石澤 発行日：2001年8月6日

